

尼崎市立中央図書館

としょかんNOW

図書館だより

中央図書館だより No. 411
令和 7(2025)年 9 月 1 日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内 27 番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142



図書館ホームページアドレス
<https://www.amagasaki-library.jp>

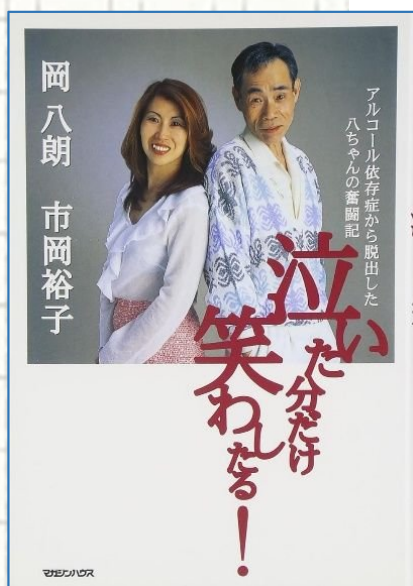
※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。
※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第67回

岡 八朗(おか・はちろう)

喜劇俳優

1938(昭和 13)年、兵庫県尼崎市生まれ。高校卒業後、宝塚映画の研究生となる。1960(昭和 35)年吉本興業に入社。「くっさー」「スキがあったらかかってこんかい！」等のギャグを生み出し、30歳で『吉本新喜劇』の座長となる。自身のアルコール依存症が遠因で、胃がん・脳挫傷・家族の死など不幸が続くが、2002(平成 14)年に記憶障害と闘いながら芸能生活 45 周年記念公演『岡八郎我王伝説』で奇跡の復活をとげる。2003(平成 15)年、改名して岡 八朗となるが、同年 67 歳で逝去。



作品紹介

「泣いた分だけ笑わしたる！」

岡 八朗・市岡 裕子/著 マガジンハウス/出版 2003年

岡八朗さんとその娘である市岡裕子さんによるドキュメンタリーエッセイ。吉本新喜劇の元看板役者である「奥目の八っちゃん」が、数々の困難に直面し、それを乗り越え再び舞台に立つまでの過程が、家族や仲間たちの絆と共に綴られています。

今月は2回開催！

絵本・手あそび DE コミュニケーション！



絵本の選び方や楽しみ方、絵本を通したコミュニケーションについて手遊びをまじえながら、楽しくお伝えする講座です。どうぞお気軽にご参加ください♪

【日 時】★9月18日(木)、▲9月26日(金) 11:00～11:45

【場 所】★北図書館、▲小田北生涯学習プラザ(2階和室)

【対 象】2歳までのお子さんとその保護者、妊婦(パートナーの参加も可)(先着10組)

【講 師】★「ひまわりの会」の皆さん、▲「尼崎こどもと本をつなぐ会」の皆さん

【申 込】専用の申込フォーム または

中央図書館カウンターへ直接お申込みください。(定員に達した場合は受付を終了します)



お申込みは
こちらから！

受付：★9月5日(金)午前9時～9月17日(水)

▲9月5日(金)午前9時～9月24日(水)

※連続講座ではありません。どちらかの日程を選んでください。(2回とも参加することもできます。)

中央図書館100周年記念事業

みんなのおすすめ本

第59回

数珠つなぎ

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。
白田和茂さん(オテモトチョップスティックス(音楽) ウエダ TTC(アルバイト) 他)から推薦された次の方は…

しん りょういち

新 良一 さん (整体院 HARPO 店主)



『さよなら私』 みうら じゅん／著
(KADOKAWA 2012 年刊)



人は、誰かや何かに執着しては依存・比較しながら生きている。比較しては妬んだり落ち込んだりを繰り返す。いつも安心を求めているから。そもそも「ない」安心を求め過ぎて不安を作り出す。いっそのこと不安と握手した方がいい。諸々に囚われ続けストレスは蓄積して滞る。滞りは毒。全ては常に流動的で循環している。捉え方ひとつで目の前の景色は変わる。もっと自分勝手に「のんき」に生きていいじゃない！と思わせてくれる気分転換に丁度いい1冊。

次回は、norosiの足立 桃子さんです。お楽しみに！

レファレンス室から

～新刊紹介～

『落語に学ぶ人生の処方—

脳が喜ぶ 想像・認知・ユーモア』

(日外アソシエーツ)2025年6月発刊

どこかで耳にしたことのあるような有名な落語の演目「百年目」「時そば」などを取り上げ、想像・認知力、ユーモアの観点から「脳が喜ぶ落語」や、さまざまな「噺」に基づく効能について具体的に解説しています。巻末にはわかりやすい落語入門書等を紹介。落語を学ぶ・調べるためのブックガイドとしても利用できます。

この資料は、3階レファレンス室でご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！

ペットを連れて泊まれる宿を探したい。



キーワード「ペット」×「泊」などで所蔵検索をおこなうと、『お散歩もお泊まりもペットといっしょ!』、『安くて良い宿公共の宿』(ともに昭文社)、『ペットとお泊り&お散歩』(JTB パブリッシング)などの貸出可能なガイドブックが見つかりました。数年前のバックナンバーなど少し古い情報が掲載されている場合もあり、また観光協会などに電話で問い合わせてもみたいとのことで、さらに『全国各種団体名鑑』(原書房)にて、各都道府県観光協会の住所や電話番号が掲載されているページも紹介しました。

桂米朝と尼崎

期間：9月26日(金)～12月27日(土)

場所：2階 エントランス

今年、没後十年・生誕百年となる桂米朝さん。長年、尼崎市武庫之荘に家族や内弟子とともに住み、直弟子・孫弟子29人が米朝宅で落語家として育ちました。尼崎市総合文化センターでは48年にわたり、若手落語家のための「尼崎落語勉強会」を主催。米朝一門による、落語文化の楽しみを市民に伝える活動は今も続いています。多くの資料や書物を収集し、学究肌といわれた米朝さんの功績を顕彰し、尼崎とのかかわりを中心に振り返る展示です。米朝一門や上方落語に関する本、落語家の活躍する小説やエッセイなど貸出可能な資料も集めました。ささやかな展示ですがどうぞご覧ください。

展示特別
イベント

「図書館らくご体験会」

噺家さんの落語を見て、聞いて、笑って、「ワザ」を体験！

日時：9月27日(土) 午後1時～2時半

場所：1階セミナー室

対象：小学5年生以上どなたでも 参加費：無料

定員：(要事前申込)受付先着60名

申込：9月5日(金)午前9時受付開始

右の専用フォームから、または直接中央図書館カウンターまで

米朝さんの孫弟子／

桂二豆さんが
やってくる！



9月の図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

朗読の会 おはなし玉手箱

日時 9月9日(火) 午後2時～3時
(毎月第2火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 「赤いくつ」

ハンス・クリスチャン・アンデルセン／作
『アンデルセン童話集』より

ほか 2 篇

※10月の朗読の会はお休みです。(次回は11月11日(火))



◆おはなしの会

14:10～14:25 子ども(0～3歳くらい)と保護者

14:30～14:50 4歳くらい～小学生と保護者

14:55～15:15 小学生

●コアラくらぶ

11:00～11:30 0～3歳と保護者



詳細はホームページまたは子ども向け図書館だより
「本と友だち」をご覧ください

開館時間 9:00～20:00

※ □印は休館日です。

※ ○囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。

みんなで楽しもう!

バリアフリー映画会

日本語字幕や音声ガイドをつけることで、目や耳が不自由な方などより広くたくさんの方が楽しめる上映会です。

「ドルフィンブルー フジ、もういちど宙へ」(105分)

9月19日(金)14時～15時45分

監督:前田 哲 出演:松山 ケンイチ、高畑 充希 ほか

【場所】中央図書館 1階 セミナー室

【対象】障害者手帳または尼崎市立図書館の貸出券を持っている方
当日先着 40 名(貸出券をご持参ください)

担当者のつぶやき



9月は防災の日や、防災週間がある月ですね。近い将来、南海トラフ地震が起きるとも言われており、私も去年から防災グッズをしっかりと揃えたり、お水を備蓄したりしています。気がついたら賞味期限が近づいている物もあり、日頃からローリングストックを心がけないと!と感じています。(T.N)



10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	